

平成 21 年度

第 4 回

佐賀県ユニバーサルデザイン大賞

年齢・性別・障害の有無・国籍などの
違いにかかわらず、みんなが安心して
暮らすためのユニバーサルデザイン
(UD) の取組を募集します。



募集期間：平成 21 年 8 月 6 日(木)～11 月 10 日(火)

大賞（知事賞）	1 点【賞状、記念品】
優 秀 賞	3 点【賞状、記念品】

1 応募内容

「まちづくり」、「ものづくり」、「ソフトづくり」、「意識づくり」など、あらゆる分野におけるユニバーサルデザイン（UD）の理念に基づいた活動や取組のうち、次の条件をみたすものとします。

(ア) 佐賀県内の個人・企業・CSO（市民社会組織）・行政等の取組であること。ただし国又は県の行政機関による取組は対象としません。

(イ) 原則として、現に活動、運営又は提供されている取組とします。

2 応募方法

(ア) 提出するもの

応募用紙に、必要事項を記入し、取組内容がわかる資料・写真・パンフレット・新聞記事などを添付して提出してください。

応募用紙は下記佐賀県UDホームページからダウンロードできます。

(イ) 提出方法

郵送、直接持ち込み、Eメール等により提出してください。

3 選考方法

「佐賀県ユニバーサルデザイン大賞選考委員会」の意見を聴いて、知事が受賞者を決定します。

4 選考結果

結果は、受賞者にお知らせするとともに、報道機関を通じて公表します。

5 表彰

表彰は、受賞者に対して、賞状及び記念品を授与することにより行います。時期は平成22年3月下旬の予定です。

6 注意点

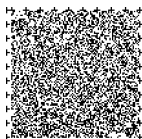
- (1) 応募用紙及び関係書類は、一切返却できません。
- (2) 応募用紙及び関係書類に記載の個人情報などは、UD大賞の選考、表彰、普及啓発の目的のために使用し、これ以外の目的には使用しません。
- (3) 応募に係る費用は、すべて応募者の負担とします。
- (4) 受賞者が市町の場合、表彰は賞状の授与のみ行うものとします。
- (5) 表彰内容及び表彰の数は予定であり、変更することがあります。

7 その他

受賞された取組については、UDの普及や取組促進のため、県のホームページ、パンフレット、テレビ・新聞・ラジオ等の媒体、県主催のイベントなどを通じて、積極的に広報を行っていきます。

8 提出先（お問合せ）

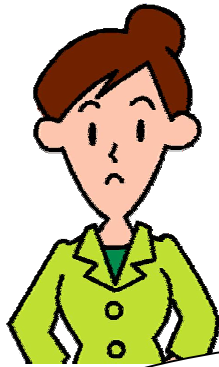
〒840-8570 佐賀県佐賀市城内 1-1-59
佐賀県地域福祉課 「UD大賞応募係」まで
Tel : 0952-25-7053 Fax : 0952-25-7264
E-mail : chiikifukushi@pref.saga.lg.jp



さがユニバーサルデザインラボ

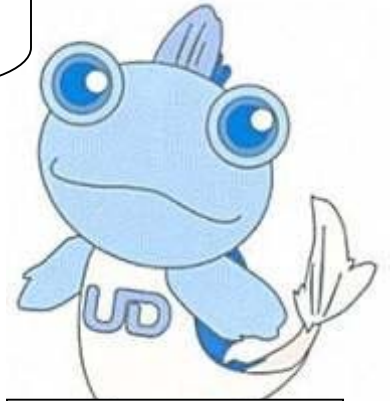
検索

<http://www.saga-ud.jp/>



どんな取組が応募できるの？
私たちの活動はUDなのかしら？

たとえば、こんな取組を
募集しています。



佐賀県UDキャラクター
ゆうちゃん

まちづくり 建物、設備、道路、公園、河川、交通、観光地など



高齢者、障害のある人、子供づれなど、みんなが訪れやすい店にするため、段差をなくす・案内板の設置・ショーケースの間隔を広げる・手すりを付けるなどの改修を行った。

地元に住んでいる目の不自由な人や、車いす利用者、妊産婦などに協力してもらい、最初の段階から何度も意見を聞いて、店主だけでは気づきにくい部分を修正した。

商店街の案内板や看板等のサインを、だれもが分かりやすいよう絵文字（ピクトグラム）を使ったり、色弱の人にも配慮した色使いにした。

ものづくり 住宅、食器・文房具、家具、電化製品、食品、パッケージ、印刷物など

商品のパッケージを見直し、指先の力が弱かったり、あまり自由に動かない人も開けやすいように、切れ込みをいれる、つまみ部分を付ける等の改良を行った。



高齢者をはじめとして、誰もが安心してまちの情報を得られるように、町の広報誌を見直し、見やすい文字の大きさ、配置、色覚障害のある人にも識別できる色使い（カラーユニバーサルデザイン）にも配慮した。

これまでの受賞者

H19大賞 NPO法人市民生活支援センターふくしの家
「困ったニーズにこたえられる子育て支援事業所づくり」

- 早朝夜間の預かり
- 病中・病後児保育
- 障害の有無にかかわらず統合保育 など、
誰もが安心して利用できる託児サービスの提供を展開



H20大賞 有田焼卸団地協同組合
「匠の蔵Ⅳ・極上のカレー皿」

- UDを取り入れたカレー皿を開発。
- 誰にでも、すくいやすく、持ちやすい
- シンプルで、誰にでも受け入れられるデザインである



ソフトづくり 各種情報提供・接客などのサービスや情報システムなど

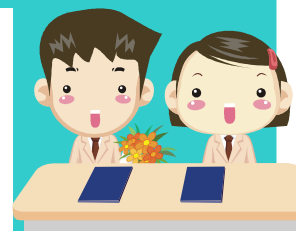
「誰もが安心して楽しむ観光地づくり」をテーマに、車いすやベビーカー、あまり長く歩けない高齢者も楽しめる観光ルートや、観光スポットの発掘・紹介を行っている。



高齢者や妊産婦等が安心して商店街での買い物を楽しめるように、300円で買った荷物を家に宅配するサービスを行っている。

意識づくり 企業・団体・CSO（市民社会組織）・学校等での普及啓発活動など

学校の授業にUD学習を取り入れて、障害のある人だけでなく、高齢者・けが人・妊産婦など、様々な人がそれぞれどんな点で困っているか、どういう環境であれば、みんなができるだけ自分の力を使いながら、暮らしやすい街になるのかを考えて発表した。



毎年、発行している機関紙で読者を巻き込みながらUDの啓発特集を行っている。

